

【学校評価資料】

令和7年度 学校評価



アンケート回答数

- ◆児童…279名（回答率96.5%）
- ◆保護者…251名（回答率86.8%）
- ◆教職員…23名（回答率100%）

令和8年2月27日

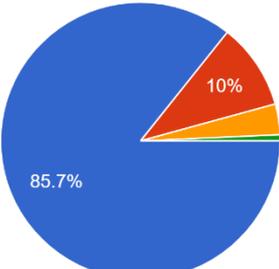
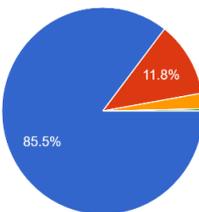
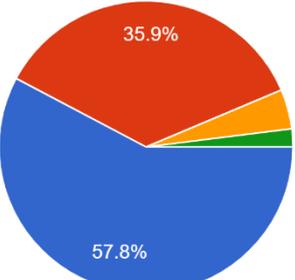
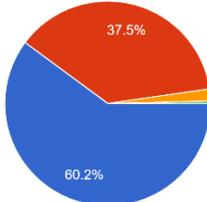
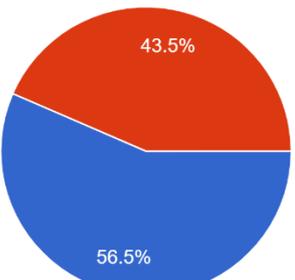
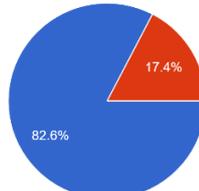
小野市立大部小学校

目 次

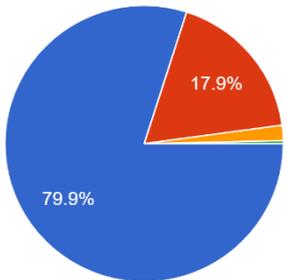
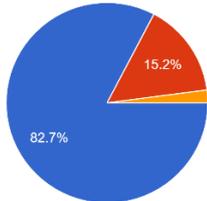
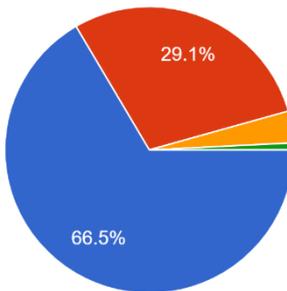
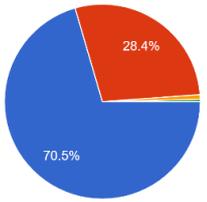
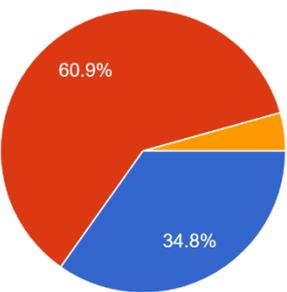
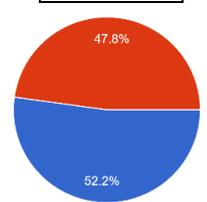
◆設問ごとの結果・考察・今後の取組	1～15
・学校生活の満足度	1
・学校生活の充実	2
・基本的生活習慣の確立	3
・家庭内の会話・団らん 家庭と学校の対話	4
・家庭内の相談体制 家庭と学校の連携	5
・児童理解と適切な指導・支援	6
・悩みや困り感の解消	7
・学習の理解と定着	8
・学びの工夫	9
・思いやりの心の育成	10
・人権尊重の意識化 やさしい言葉遣い	11
・体力の向上 健康の増進	12
・安全の確保 交通ルールの順守	13
・情報の発信と共有	14
・教育環境の整備	15
◆学校評価でいただいたご意見への回答	16～19

学校評価 2025（大部小）の分析・総括（1 / 15）

1. 学校－01 学校生活の満足度

児 童	
学校や学級では楽しく過ごせている。	
 <ul style="list-style-type: none"> ● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold; margin-bottom: 5px;">昨年度結果</div> 
保 護 者	
お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている。	
 <ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold; margin-bottom: 5px;">昨年度結果</div> 
教 職 員	
子どもたちは、学校や学級で楽しく過ごせている。	
 <ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold; margin-bottom: 5px;">昨年度結果</div> 
<p>【考察】</p> <p>児童、保護者、教職員すべての対象において、肯定的評価の割合が高くなっており、「ウェルビーイングな学校づくり」の成果が表れていると考える。しかし、否定的評価をしている児童、保護者がいること、教職員の「そう思う」の回答割合が昨年度より大きく下がっている点が気になるところである。まずは、学校生活の大部分を占める授業の時間を大切に、「わかる授業」「楽しい授業」をさらに追求する。</p>	

2. 学校-02 学校生活の充実

児 童	
<p>わたしは、毎日学校での勉強・そうじ・係の仕事などをがんばっている。</p>	
	<p>● そう思 (おも) う ● ややそう思 (おも) う ● あまりそう思 (おも) わない ● そう思 (おも) わない</p>
<p>昨年度結果</p> 	
保 護 者	
<p>お子さんは、学校で充実した生活 (学習・生活) を過ごしていると感じる。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない</p>
<p>昨年度結果</p> 	
教 職 員	
<p>子どもたちは、自ら進んで自分の役割を果たし、充実した学校生活を過ごせている。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない</p>
<p>昨年度結果</p> 	
<p>【考察】</p> <p>すべての対象において、肯定的評価の割合が95%を超えており、学校生活の充実ぶりを三者で共有し合えている。反面、教職員、保護者の否定的な評価の割合が昨年度より増加している。大人が考える「充実」の中身を具体的に洗い出し、児童自身が自分の目指すべき姿を具体的にイメージできるよう、学校、家庭において子どもたちにわかりやすく伝えていく。</p>	

3. 学校-03 基本的生活習慣の確立

児 童	
<p>わたしは、進んであいさつをすること、チャイムを守ること、忘れ物をしないこと、などに気をつけている。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● そう思 (おも) う ● ややそう思 (おも) う ● あまり思 (おも) わない ● そう思 (おも) わない 	<p>昨年度結果</p>
保 護 者	
<p>お子さんは、基本的な生活習慣（挨拶・時間を守る・後片付け・身だしなみ等）が身についている。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない 	<p>昨年度結果</p>
教 職 員	
<p>子どもたちは、基本的生活習慣（挨拶・時間を守る・後片付け・身だしなみ等）を身につけてきている。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない 	<p>昨年度結果</p>
<p>【考察】</p> <p>「基本的な生活習慣の確立」について、保護者・教職員の肯定的評価の割合が、児童に比べて低くなっている。児童への質問の文末が「気をつけている」となっていることも関係しているのかもしれない。大人から見て「できていること」と「できていないこと」を子どもたちに明確に示し、子どもたち自身に問題意識を持たせることが大切である。学校と家庭の連携をより深め、同一歩調で指導、支援にあたる。</p>	

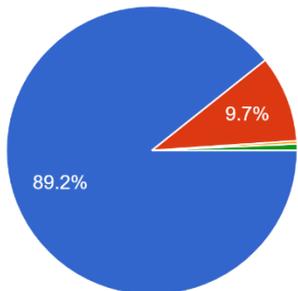
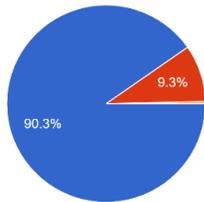
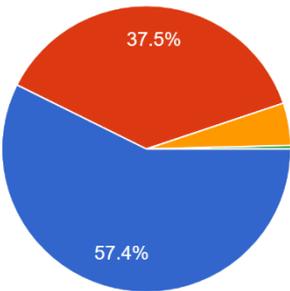
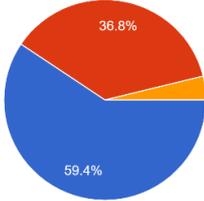
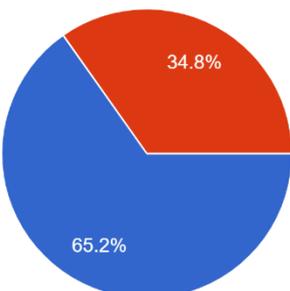
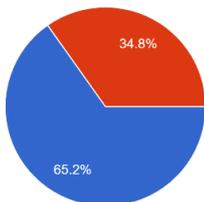
2. 保護者－01 家庭内の会話・団らん 家庭と学校の対話

児 童	
<p>わたしは、おうちの人と勉強したり、お話したり、いっしょに食事をしたりしている。</p>	
	<p>● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない</p>
<p>昨年度結果</p>	
保 護 者	
<p>家庭では、家庭学習（宿題）の様子を見たり、会話したり、一緒に食事をとったりしている。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない</p>
<p>昨年度結果</p>	
教 職 員	
<p>学校（教員）は、子どもの様子や指導・支援のあり方について、家庭訪問や個人懇談、電話連絡などを通して把握しようとしている。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない</p>
<p>昨年度結果</p>	
<p>【考察】 すべての対象において、肯定的評価の割合が95%を超えており、児童、保護者、学校が良好な関係を築くことができている。しかし、「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答している児童がいることを見逃してはいけな。私たち大人一人ひとりが子どもたちへの関わり方を再度見つめ直し、温かく寄り添う時間をより大切にしていける必要がある。</p>	

2. 保護者－02 家庭内の相談体制 家庭と学校の連携

児 童	
<p>わたしは、困ったことがあれば、おうちの人に相談している。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● している ● ややしている ● あまりしていない ● していない 	<p>昨年度結果</p>
保 護 者	
<p>家庭では、日頃からお子さんの実態把握に努め、特に困りごとに対しては、相談にのるよう心がけている。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない 	<p>昨年度結果</p>
教 職 員	
<p>学校(教員)は、子どもに関する相談や悩みについて、面談や電話連絡などを通して、日々子どもや保護者との連携を密にしている。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない 	<p>昨年度結果</p>
<p>【考察】</p> <p>昨年度同様、約1割の児童が、困ったことがあってもお家に人に「あまり相談していない」「していない」と回答している。児童が抱え込んでしまっている困り感があるということだ。保護者、教職員はこの結果を重く受け止めるべきである。子どもたちが何でも打ち明けることのできる良好な関係作りを心がけるとともに、学校と家庭の連携をこれまで以上に密なものにしていく必要がある。</p>	

3. 教職員－01 児童理解と適切な指導・支援

児 童	
先生は、ほめたり、励ましたり、まちがえたことはきちんと注意したりしてくれる。	
	<ul style="list-style-type: none"> ● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまり思（おも）わない ● そう思（おも）わない
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">昨年度結果</div> 	
保 護 者	
学校は、一人一人の児童をよく理解し、個性を大切にしながら、社会性も育てている。	
	<ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">昨年度結果</div> 	
教 職 員	
学校（教員）は、教え導く「教育」と、やさしく寄り添う「養護」のバランスを意識して指導・支援にあたっている。	
	<ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">昨年度結果</div> 	
<p>【考察】</p> <p>すべての対象において肯定的評価の割合が95%を超えており、教師の指導や支援を児童は受け止め、保護者もそのことを感じ取っている。反面、否定的な回答をしている児童、保護者がいることが気になる。児童一人一人に対するよりきめ細やかな指導・支援を行うとともに、その内容が保護者にも伝わるよう情報発信の仕方を工夫する。</p>	

3. 教職員－02 悩みや困り感の解消

児 童	
わたしが悩んだり、困ったりしたとき、先生に相談するときちゃんと解決してくれる。	
	<p>● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">昨年度結果</div>	
保 護 者	
学校は、児童や保護者の悩みに対して、丁寧に、適切に相談に応じ、対応している。	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">昨年度結果</div>	
教 職 員	
学校（教員）は、児童理解に努め、保護者からの相談や児童間のトラブル等に対してきちんと対応している。	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">昨年度結果</div>	
<p>【考察】</p> <p>すべての対象で肯定的評価の割合が高くなっている一方、すべての対象で「思わない」という回答があることを重く受け止めている。学校は、子どもたち一人一人に寄り添った指導・支援をさらに心がけていくとともに、教員一丸となった組織的な対応を構築する。また、保護者に対してもより丁寧な説明を行う必要がある。</p>	

4. 学習-01 学習の理解と定着

児 童	
<p>学校での学習は楽しくて、よくわかる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ● そう思 (おも) う ● ややそう思 (おも) う ● あまりそう思 (おも) わない ● そう思 (おも) わない </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>昨年度結果</p> </div> </div>	
保 護 者	
<p>学校は、児童の発達段階に即した、楽しくてわかりやすい授業を行っている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>昨年度結果</p> </div> </div>	
教 職 員	
<p>学校(教員)は、「わかる授業」「楽しい授業」を追求しており、基礎基本の定着をはじめ、学力の向上に取り組んでいる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>昨年度結果</p> </div> </div>	
<p>【考察】</p> <p>学校は、「わかる授業」「楽しい授業」を日々追求しているが、児童、保護者には伝わり切っていない現状である。すべての児童が「わかった!」「楽しかった!」と思えるような「主体的・対話的で深い学び」を今後も追求し続けるとともに、学びの充実を保護者に分かりやすく伝えることのできる方法を模索する。</p>	

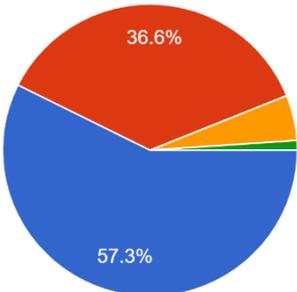
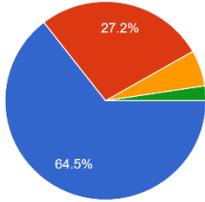
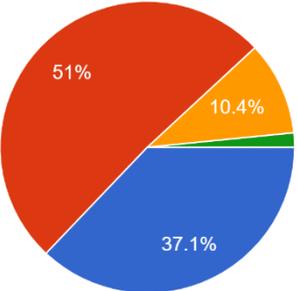
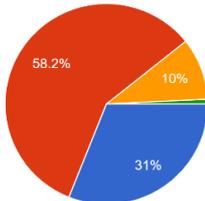
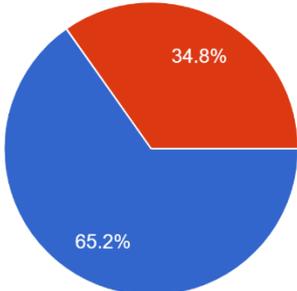
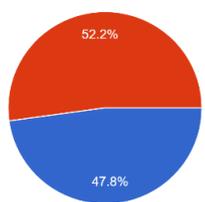
4. 学習－02 学びの工夫

児 童	
<p>教科によって担任以外の先生と学習すると、楽しく取り組むことができ、内容もよくわかる。</p>	
	<p>● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない</p>
	<p>昨年度結果</p>
保 護 者	
<p>学校は、兵庫型学習システム（教科担任制・専科指導・同室複数支援等）やGIGAスクール構想（ICT機器・タブレット端末等の利活用）による指導・支援の工夫を行っている。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない</p>
	<p>昨年度結果</p>
教 職 員	
<p>学校（教員）は、兵庫型学習システム（教科担任制・専科指導・同室複数支援等）やGIGAスクール構想（ICT機器・タブレット端末等の利活用）による指導・支援の工夫を行っている。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない</p>
	<p>昨年度結果</p>
<p>【考察】</p> <p>学校は様々な指導・支援の工夫を行っており、教職員の「そう思う」回答の割合が昨年度より大きく向上しているのだが、児童、保護者には十分に伝わり切っていない。オープンスクールのみならず、学校からの便りやHPにおいても、授業の様子や学校としての工夫をどんどん発信していく必要がある。</p>	

5. 人権教育－01 思いやりの心の育成

児 童	
<p>わたしは、まわりの人にやさしくし接したり、友だちとは仲よく遊んだりしている。</p>	
	<p>● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまり思（おも）わない ● そう思（おも）わない</p>
<p>昨年度結果</p>	
保 護 者	
<p>学校は、道徳や人権学習、日々の活動全般を通して、いじめを許さない心や思いやりの心を育てる教育を推進している。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない</p>
<p>昨年度結果</p>	
教 職 員	
<p>学校（教員）は、児童一人一人の人権を大切にしながら、自分も周りも大切にしようとする人権感覚を育む教育を推進している。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない</p>
<p>昨年度結果</p>	
<p>【考察】</p> <p>児童、教職員の肯定的評価の割合が大変高くなっており、学校としての「思いやりの心」を育てる道徳教育や人権教育、生徒指導の充実を、子どもたちがしっかりと受け止めてくれていることが読み取れる。学校でのウェルビーイングがもっともっと家庭や地域へも広がっていくよう、PTAや学校運営協議会とも連携しながら取組をさらに推進する。</p>	

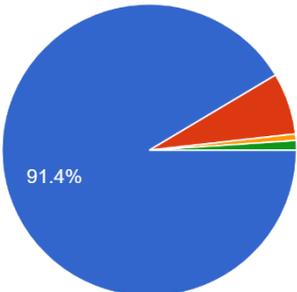
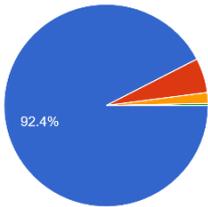
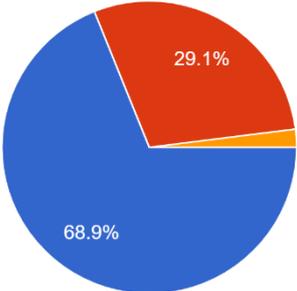
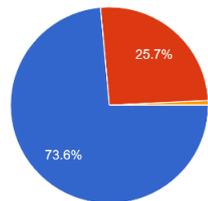
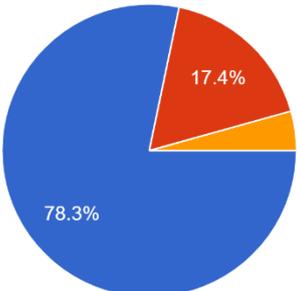
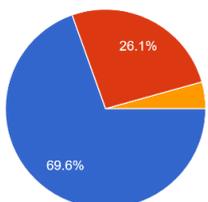
5. 人権教育－02 人権尊重の意識化 やさしい言葉遣い

児 童	
<p>わたしは、友だちを「さん」づけで呼んだり、やさしい言葉づかいで話しかけたりしている。</p>	
	<p>● そう思 (おも) う ● ややそう思 (おも) う ● あまりそう思 (おも) わない ● そう思 (おも) わない</p>
<p>昨年度結果</p> 	
保 護 者	
<p>お子さんは、周りの人に対してやさしい言葉づかいを、人を大切にしようとしている。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない</p>
<p>昨年度結果</p> 	
教 職 員	
<p>学校 (教員) は、周りの人に対してやさしい言葉づかいを日々指導しており、周りの人を大切にしようとする心を育てている。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない</p>
<p>昨年度結果</p> 	
<p>【考察】 教職員の肯定的評価割合が100%であるのに対し、児童は約94%、保護者は約88%となっている。児童会の「ステキな言葉や行動を増やそう」の取組や名前への「さん」づけの意識付けなど、人権教育とも絡めながら学校として取り組んでいるのだが、子どもたちの中にしっかりと定着するにまでは至っていない。学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの「言葉環境」を整えていく必要があると考える。</p>	

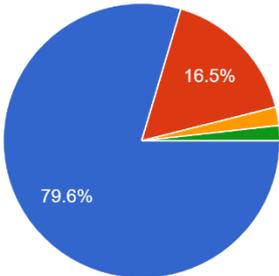
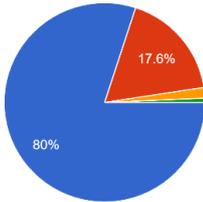
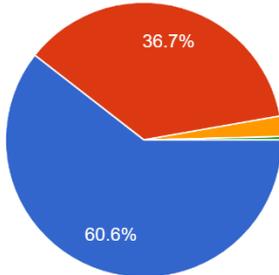
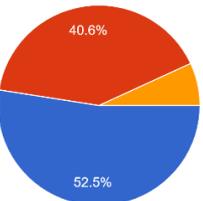
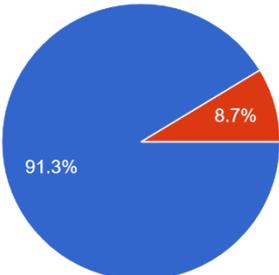
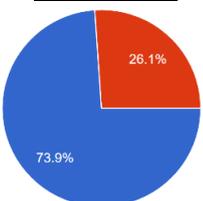
6. 健康安全－01 体力の向上 健康の増進

児 童	
<p>わたしは、体育の授業や休み時間などで体を動かしたり、給食をしっかり食べたりして、心も体も健康で元気に過ごしている。</p>	
	<p>● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない</p>
<p>昨年度結果</p>	
保 護 者	
<p>お子さんは、学校での体育学習や運動遊び、給食、食育を通して、心身の健康や体力の向上が図られていると感じる。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない</p>
<p>昨年度結果</p>	
教 職 員	
<p>学校（教員）は、学校での体育学習や運動遊び、給食、食育を通して、心身の健康や体力の向上を図っている。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない</p>
<p>昨年度結果</p>	
<p>【考察】</p> <p>すべての対象において、肯定的評価の割合が大変高くなっている。学校と家庭が連携を取りながら、児童の健康維持・増進や体力向上に努めている成果が表れている。今後も引き続き、「早寝・早起き・朝ごはん」「十分な睡眠」「適度な運動」など、健康を守り、脳を鍛える望ましい生活習慣の確立を目指す。</p>	

6. 健康安全－02 安全の確保 交通ルールの順守

児 童	
<p>わたしは、交通ルールを守って安全に登下校したり、危ない目にあわないように気をつけたりしている。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない
	<p>昨年度結果</p> 
保 護 者	
<p>お子さんには、交通ルールをきちんと守ったり、周りの危険から自分の身を守ったりするよう、いつも注意を促している。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ● している ● ややしている ● あまりしていない ● していない
	<p>昨年度結果</p> 
教 職 員	
<p>学校（教員）は、子どもたちの登下校や帰宅後の生活について、安全指導や安全教育を積極的に行っている。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
	<p>昨年度結果</p> 
<p>【考察】</p> <p>すべての対象で肯定的評価の割合が高くなっており、また、児童の「そう思う」回答が90%を超えるなど、安全な登下校や地域での過ごし方ができているように見えるが、登下校時のトラブルや地域からの苦情があるのも現実である。児童の安全意識に何が足りないのかを明確にし、自律的な自己指導能力を育む必要がある。</p>	

7. 学校経営－01 情報の発信と共有

児 童	
<p>わたしは、学校であったことをお家の人に伝えたり、学校からのお便りをお家の人にきちんとわたしたりしている。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ● そう思 (おも) う ● ややそう思 (おも) う ● あまりそう思 (おも) わない ● そう思 (おも) わない
	<p>昨年度結果</p> 
保 護 者	
<p>学校からの情報発信（学校・学年だより、スクリレ、ホームページ、配布物、オープンスクール等）を通して、学校の教育方針や学校生活の様子などが分かりやすく伝わってきている。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない
	<p>昨年度結果</p> 
教 職 員	
<p>学校（教員）は、学校・学年だより、スクリレ、ホームページ、配布物、オープンスクール等を通して、積極的に情報の発信と共有を行っている。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない
	<p>昨年度結果</p> 
<p>【考察】</p> <p>昨年度に比べ、保護者の肯定的回答、教職員の「そう思う」回答の割合が向上しており、学校からの情報発信とその共有が図られている。今後は、学校からの情報発信の「質」にもっとこだわり、児童の学びの充実やそのための指導の工夫、ウェルビーイングな学校生活の様子を、HPやスクリレでリアルタイムに伝えていく。</p>	

7. 学校経営－02 教育環境の整備

児 童	
<p>わたしは、学校でみんなが使う場所や物、そして一人一鉢の花を大切にしている。</p>	
	<p>● そう思（おも）う ● ややそう思（おも）う ● あまりそう思（おも）わない ● そう思（おも）わない</p>
	<p>昨年度結果</p>
保 護 者	
<p>学校の施設・設備・掲示物等は、工夫や安全への配慮がなされており、環境が整っている。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない</p>
	<p>昨年度結果</p>
教 職 員	
<p>学校（教員）は、学校の施設・設備・掲示物等は工夫や安全配慮をしながら、教育環境を整えようとしている。</p>	
	<p>● そう思う ● ややそう思う ● あまり思わない ● 思わない</p>
	<p>昨年度結果</p>
<p>【考察】</p> <p>すべての対象において、肯定的評価の割合が大変高くなっており、三者の学校環境整備への意識が高く、その実現が図られていると捉えている。しかし、児童の中には「そう思わない」という回答もあり、保護者の否定的な回答も少数だが見られる。具体的な課題を明確に洗い出し、実効性のある整備計画を立てて今後取り組んでいく。</p>	

学校評価でいただいたご意見への回答

学校評価の自由記述欄にいただきましたご意見とその回答を以下に記しています。即対応とできないものもありますが、今後の参考にさせていただき、対応にあたっていきたいと思います。

1 本校の教育をご評価いただいているおことば

以下のようなおことばをいただいております。

- 良い環境で学校に通うことができ、うれしく思っています。
- 子どもにとって、申し分のない学校だと思っています。
- 大部小学校が大好きで、担任の先生が大好きです。
- 様々な行事等、子どもの自己肯定感が高まる取組をしていただき、ありがとうございます。
- 学校で教えてもらった「ウェルビーイング」をよく口にしており、気に入っているようです。学校内に浸透していると年々感じます。行事等における保護者の負担が少しずつ軽くなってきていることも、助かっています。
- 学校を休んだ時など、電話で様子を聞いていただき、ありがとうございます。それ以外にも、疑問や相談にものってくれて感謝しています。
- 先生方が、「ここぞ」って時に言葉をかけてくださって、一緒に子どもたちを育ててくれてるんだなあと感じます。



職員一同、大変うれしく思っております。

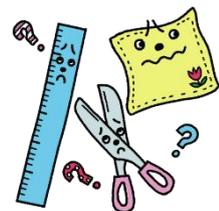
ありがとうございました。

このおことばを励みに、今後も引き続き、子どもたちのさらなる成長を促す教育活動に尽力していきたいと思っております。

2 宿題や持ち物の連絡について

学校からお伝えする宿題や持ち物について、分かりにくい時があるというご意見をいただきました。

学校からは、毎日の連絡帳やプリント、学年だより等で、できるだけわかりやすく子どもたちや保護者の皆様にお伝えしているところです。今後も引き続き、より適切にお伝えすることができるよう、学校として工夫していきたいと思いま



す。それでも不明な点があるときは、遠慮なさらず学校へお問い合わせください。丁寧に対応させていただきます。

3 P T A活動について

町単位でのP T A活動の実施が難しくなっているというお悩みの声をお寄せいただきました。



昨年度も同じようなご意見をいただいております。それを受け、少しでもP T A活動のご負担を減らすため、まずはP T A役員選出人数の見直しを行いました。今年度が見直しを行う年でしたので、企画委員会、役員総会で協議し、来年度の各町から選出していただく町評議員数を3名減らしました。

P T A行事の見直しも行いました。昨年度まで6月のオープンスクール後に実施していた奉仕作業でしたが、大変暑い中の作業で負担が大きかったので、今年度は10月中旬の涼しい時期に実施しました。早朝から約1時間30分の作業でしたが、P T A役員の皆様と教職員で力を合わせ、学校環境を整えることができました。ありがとうございました。また、今年度まで年間3回実施していたリサイクルデーでしたが、来年度からは年間2回（1学期と2学期）に減らしていく方向で考えています。

今後も引き続き、各町の実態に合わせてながら、P T A行事や役員数の見直しを行っていきたいと思います。同時に、P T Aの存在意義をもっとみなさんと共有する時間も大切にしていきたいと考えています。ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

4 夏休みの課題について

夏休みの課題について、もっと子どもたちが主体的に取り組むことができるようにはならないものか、というご意見をいただきました。

読書感想文やポスター、夏休み作品展など、保護者の方々の多大なるサポートをいただいていることと思います。課題の出し方（種類、数、必須・自由）については、学校としても検討しているところです。同時に、夏休みの課題に対して、子どもたちがより主体的に取り組んでくことができるよう、その準備となるような学習経験を学校で積み重ねておくことも必要であると考えています。夏休みの課題が単発的なものになってしまわないよう、事前・事後のつながりを意識して夏休みの課題を検討していきたいと思います。今後も引き続き、保護者の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いたします。



5 学校からの情報発信について

学校生活の様子をもっと知りたいというご要望をいただきました。

学校生活の様子については、現在、学校ホームページを中心に情報発信させていただいています。今後も引き続き、様々な子どもたちの様子をお伝えしたいと考えております。委員会活動やクラブ活動など、これまであまり情報発信できていなかった内容についてもお伝えすることができるよう、タイムリーでバリエーションのある情報発信を心がけていきたいと思っております。



6 給食当番着について

給食当番着の入れ替えについてご要望の声をいただいております。

古い当番着もあり、汚れていたり破れていたりしているものもあります。定期的に点検し、順次新しい当番着と入れ替えているところです。予算の関係もあり、一気にすべてを入れ替えることは困難ですが、衛生面を第一に考えて適切に対応していきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。



また、昨年度の学校評価で、「給食当番着を個人持ちにしてはどうか」というご意見をいただいております。今年度に入って、市内小学校長会でも確認し合ったのですが、「現在の割烹着タイプは同じボタンの数で帽子もかぶるだけのシンプルな形なので着脱がしやすい」「袖があるエプロンの方が衛生的」「個人持ちにすることでご家庭の金銭的負担が増える」等の理由で、現時点で個人持ちということは考えておりません。ただし、個々の児童の特性もありますので、特別な事情がある場合は学校へご相談ください。個別に対応させていただきます。

7 校外生活のきまりについて

校外生活のきまりについて、子どもだけで行くことのできる場所の制限がきついのではないかとご意見をいただきました。

大部小学校では、「子どもだけでは校区外へ出ません。」「スーパーや大型店には、大人の人と一緒にいこう。」「子どもだけでゲームセンターへ行ってはいけません。」等の校外生活のルールを設けています。それは、このような場所は小学生段階の子どもたちにとって安全面のリスクが高いからです。交通事故のリスク、犯罪被害のリスク、金銭トラブルのリスクなどです。このような事態がもし起きてしまったら、子どもたちの安



全、安心、そして命が脅かされることとなります。とても心配なことです。

今子どもたちは、そのようなリスクに対応する力を育てている途中です。私たち大人が見守り、教え、正しい方向へ導いてやる必要があると思います。決して子どもたちを縛り付けるものではなく、子どもたちの命、安全、安心を守るものであるということをご理解いただければと思います。

8 一人一台端末（クロームブック）のさらなる活用について

タブレット学習をもっと増やしてほしいというご意見をいただきました。

大部小学校では、各学年の発達段階に即して、クロームブックを有効に活用したICT教育を行っています。これからの時代に必要となる情報活用能力を育てるとともに、情報機器を正しく安全に使うための情報モラル教育にも力を入れています。子どもたちの「生きて働く力」に結びついていくよう、使用頻度を増やすだけではなく、子どもたちの学びをより広げたり、より深めたりするための有効な活用方法を、今後も追求していきたいと考えています。



小野市は、東北大学の川島隆太教授の脳科学理論に基づいた「おの夢と希望の教育」を推進しています。その中で、川島教授は、脳の健やかな成長のためには「デジタル」と「アナログ」の適切な使い分けが重要であると述べられています。例えば、言葉の意味を調べる際、ネット検索する方が早く調べられますが、国語辞典を手でめくりながら調べる方が脳は活発に活動し、鍛えられていくということが科学的に証明されているそうです。漢字や計算の練習でも、デジタルドリルで学習するより、これまでやってきているような漢字帳や計算ドリルノートに鉛筆で書きながら練習する方が、脳の前頭前野は活発に働くということです。このようなことから、学校でのクロームブック活用についても、「デジタルのよさ」「アナログのよさ」をしっかりと見極めながら、バランスのよい活用を行っていきたいと考えております。



以上、学校としての回答とさせていただきます。

貴重なご意見をたくさんいただき、本当にありがとうございました。

今回の学校評価結果を真摯に受け止め、今後の教育活動のさらなる深化・充実を図っていくための材料にしていきたいと思っております。また、PTAや学校運営協議会など、保護者や地域の皆様とも共有し合いながら、ともに子どもたちの健やかな成長を促していきたいと思っております。

今後とも、よろしく願いいたします。